

- 2013年4～6月期実績と2013年7～9月期及び2013年10～12月期予想 -

京都商工会議所  
担当：中小企業経営支援センター  
電話 (075) 212-6467国内景気が大幅に上昇  
～自社業況は横ばい、先行きは緩やかに改善～

## 概要

今期の国内景気は、経済対策への期待から円安・株高が進み、消費マインドの改善や景気回復への期待感がさらに高まったことで、BSI値が大きく上昇し、2005年10～12月期以来となる20.0を超える高水準となった。自社業況については、観光シーズン等の需要期を迎えたことから旅館・ホテルなどの観光関連産業が回復する一方、円高解消に伴う原材料・輸入仕入れ価格の上昇や、電気料金の値上げなどのマイナス要因もあり、鉄鋼・繊維関連事業などでは依然として厳しい状況が続き、全体としては横ばいとなった。しかし、自社業況の停滞感は和らいできており、秋の需要期には大きく上昇することも予想され、改善の兆しがみられる。

(注) 5月中旬から下旬にかけ同調査を実施し、589社中482社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。また4～6月期のBSI値は、1～3月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

## I 国内景気動向

4～6月期のBSI値は、24.5(前期実績9.5)と、大幅に上昇した。今後の7～9月期は20.3、続く10～12月期も21.4と高水準で推移する見込みとなっている。

## II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 4～6月期のBSI値は0.1(前期実績▲9.2)とほぼ横ばいとなった。今後の7～9月期は1.7と不需要期ながらもわずかに上昇し、続く10～12月期のBSI値は、季節的要因もあり、11.6と2ケタのプラスを示し、業況感は大幅に好転する見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 4～6月期のBSI値は、1.3(前期実績▲10.6)とわずかに増加した。業種別では、旅館・ホテル(31.8)、運輸・倉庫業(20.0)、料理・飲食(13.7)、食料品製造(8.7)などの業種で増加し、情報・事業サービス(▲11.4)、電気機械製造(▲10.4)、繊維製品製造(▲10.0)、窯業・土石(▲8.3)など製造業を中心に減少した。今後の7～10月期は0.9とほぼ横ばいとなり、続く10～12月期は15.7と大きく増加する見通し。

2. 製・商品・サービス・請負価格 4～6月期のBSI値は、2.4(前期実績▲4.4)と上昇に転じた。業種別では、繊維卸(23.8)、木材・木製品製造(22.2)、不動産業(10.0)、食料品卸(8.9)などの業種で上昇する一方、製造業を中心に、一般機械製造(▲6.9)、電気機械製造(▲5.2)、非鉄(▲4.4)などの業種で下降した。今後の7～9月期は3.7、続く10～12月期は6.6と上昇する予想。

3. 経常利益 4～6月期のBSI値は▲5.3(前期実績▲12.9)と減少した。業種別では、旅館・ホテル(25.0)や運輸・倉庫業(12.0)が増加傾向にあったが、鉄鋼(▲25.0)、情報・事業サービス(▲22.7)、精密機械製造(▲18.8)、建設(▲17.8)などほとんどの業種で減少した。今後の7～9月期は▲4.5と減少し、10～12月期には8.2と上昇に転じる見通し。

4. 所定外労働時間 4～6月期のB.S.I.値は、▲0.9(前期実績▲5.7)とほぼ横ばいとなった。業種別では、運輸・倉庫業(18.5)、精密機械製造(9.4)などの業種で増加したが、鉄鋼(▲18.8)、繊維製品製造(▲15.0)、小売業(▲14.3)、情報・事業サービス(▲13.7)、電気機械製造(▲12.1)などの業種では減少した。今後の7～9月期は▲0.4とほぼ横ばいとなり、続く10～12月期は8.9と増加に転じる見通し。

5. 製・商品在庫 4～6月期は、「適正」とする企業が79.6%、B.S.I.値7.7(前期実績8.4)となり、適正水準に向かう業種がある一方、一部業種では過剰感が強まった。業種別では、窯業・土石(「過剰」45.5%)、繊維製造(同44.4%)、繊維卸(同33.3%)、精密機械製造(同31.3%)、繊維製品製造(同30.0%)などで過剰感が見られた。また、鉄鋼(「不足」12.5%)では、不足感が見られた。今後は、全体としてゆるやかに適正水準に向かうと予測している。

6. 資金繰り 4～6月期のB.S.I.値は、B.S.I.値▲0.6(前期実績▲7.0)とほぼ横ばいとなった。規模別では、大企業(4.4)が改善し、中小企業(▲2.5)は悪化した。今後の見通しは7～9月期は悪化し、10～12月期は改善する見通しとなっている。

### Ⅲ 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」(53.3%)が前回に続き第1位になった。第2位は前回第3位の「原材(燃料高)」(39.6%)、第3位に「過当競争」(31.3%)が続いた。第4位は「製・商品(請負)価格安」(23.9%)、第5位は「人件費負担増大」(14.9%)となった。

国内景気		実績			予想					
		2013年4～6月期			2013年7～9月期			2013年10～12月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		24.5	55.5	6.5	20.3	48.1	7.6	21.4	46.6	3.8
規模別	大企業	29.1	61.1	2.9	23.8	51.1	3.6	22.5	47.1	2.2
	中小企業	22.6	53.1	8.0	18.9	46.8	9.1	21.0	46.3	4.4
業種別	製造業	22.7	54.6	9.3	19.7	47.5	8.1	18.7	42.7	5.3
	卸売業	23.4	50.0	3.3	22.5	50.0	5.0	30.9	61.7	0.0
	小売業	19.1	42.9	4.8	9.6	28.6	9.5	26.2	52.4	0.0
	建設業	29.0	58.0	0.0	21.0	48.4	6.5	24.2	51.6	3.2
	不動産業	30.0	60.0	0.0	30.0	66.7	6.7	26.7	53.3	0.0
	運輸・倉庫業	29.7	63.0	3.7	24.1	51.9	3.7	22.2	48.1	3.7
	サービス業	27.9	60.8	5.1	19.6	48.1	8.9	19.0	41.7	3.8

自社業況 (総合判断)		実績			予想					
		2013年4～6月期			2013年7～9月期			2013年10～12月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		0.1	27.5	27.3	1.7	24.2	20.9	11.6	34.9	11.8
規模別	大企業	2.3	27.8	23.3	8.4	30.7	13.9	14.7	37.5	8.1
	中小企業	▲0.7	27.5	28.9	▲1.0	21.6	23.6	10.3	33.9	13.4
業種別	製造業	▲2.9	24.6	30.3	3.1	26.3	20.1	10.6	33.2	12.0
	卸売業	▲1.7	23.3	26.6	▲0.9	18.3	20.0	12.5	35.0	10.0
	小売業	2.4	19.0	14.3	0.0	19.0	19.0	19.1	42.9	4.8
	建設業	▲4.8	22.6	32.2	9.7	35.5	16.1	9.7	38.7	19.3
	不動産業	6.7	33.3	20.0	10.0	40.0	20.0	16.7	33.3	0.0
	運輸・倉庫業	11.1	33.3	11.1	▲3.7	14.8	22.2	13.0	33.3	7.4
	サービス業	7.1	41.0	26.9	▲3.2	19.2	25.6	10.9	37.2	15.4

※ B.S.I.値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) ×  $\frac{1}{2}$